

郷土の誇り 遠山君!

▶ ラジオ体操の父 遠山喜一郎氏 のエピソード ◀

日立市では「ラジオ体操の父」として有名な**遠山喜一郎**氏についてはご存じの方も多いと思います。

遠山氏は、体操や教育の分野で活躍され、指導者として体操日本の基礎を作られるとともに、誰もが知っている**ラジオ体操**や**県民体操**(ある年代の方にはおなじみですね)の生みの親でもあります。



1936年、母校に凱旋し、体操の演技(平行棒)を披露する遠山氏(山並みは、今の台原団地方面か)

遠山氏は、1936年(昭和11年)ベルリンで開かれた**第11回オリンピック大会**に**体操の選手として出場**しています。(当時は熊本師範学校教員。日本は、総合9位でした。)

遠山氏の出身校(水木小学校)の歴史を紐解くと、大会後の遠山氏の凱旋を、全児童が大甕駅頭に出迎え、村民祝賀会が母校で開かれ、下記の祝賀の歌で歓迎したそうです。翌日、母校で児童や地域の方々に講話と体操の実技を披露してく

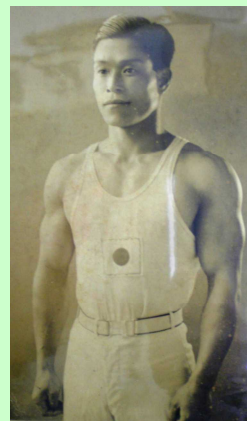
ださいました。

また、水木小学校の創立百周年の記念式典(1989年：平成元年)にも、出席してくださいました。

祝賀の歌にあるように、遠山氏は、「永久に残らむ君が名は」のとおり、水木小学校や私たちの地域の「郷土の誇り」です。

遠山喜一郎選手祝賀の歌

- 1 秋の穂波のただよせて
黄金に光るこのあした
郷土の誇り 遠山君
世界制覇の業終えて
今こそ帰るふるさとに
- 2 歴史に燦と輝ける
オリンピックの大会に
体操日本の代表と
重責負いしその名誉
永久に残らむ君が名は



体操のユニフォームを着た
遠山喜一郎選手

【「水木小学校百年史 母校よ永遠に」より(2枚の写真も) 当時は、坂上村・坂上尋常小学校 校長通信「ハーベスト」no41(2010年)より】

❖ 7月20日の日立市一斉ラジオ体操を前に、遠山喜一郎氏についてとりあげてみました。